

先天性の病気

生まれつきこんなことがあれば、
医療機関に相談です。



1. 赤ちゃんの黒目が内側に寄っている

片側、あるいは両側のことがあります。
パッと振り向いた時などに「あれ？」と気付くことがあります。
眼科受診をおすすめします。

2. 常に涙目をしている

先天性鼻涙管狭窄症の可能性があります。
細菌性結膜炎だけなら点眼薬で治ってしまいます。
治ったはずなのに、また涙目になるようなら
眼科で診察を受けて下さい。



3. 両側（あるいは片側）の鞏丸が触れない、 目で見るできない

停留鞏丸（停留精巢）の可能性があります。
お風呂上りには触れるが、朝とかオムツ交換の時には
触れないのは「移動性」の可能性があります。
この病気は小児外科を受診します。



4. 両足が内股、あるいはガニ股に見える

年齢とともに内股、ガニ股が改善されていくことがあります。
極端に足が内（外）側に向いていると思う時は、御相談下さい。
小児専門の整形外科を紹介します。

5. でべそが目立つ

正式病名は「臍ヘルニア^{さい}」です。
大半の場合は経過観察で目立たなくなっていくます。
小児外科の先生を紹介します。



まだまだ気になることがありますよね。
気楽に相談して下さい。

歯が痛い時に使える漢方処方

(110) 立効散

”たちまち効く”という薬です。
少し歯茎が腫れている程度なら、
鎮痛剤で対処できます。
しかし、歯茎の炎症が高度な時や、
歯根の先や歯槽に膿^{うみ}が溜まってしまつて炎症を
起こしている場合は、痛み止めがほとんど役に立ちません。



飲み方のコツ「含み飲み」

- 約50mlの水に立効散1包を溶かして、少しずつ口に含み、
痛いところにブクブクしながらなじませた後、飲み込みます。
- 口の中に少ししびれ感が広がるとともに痛みが消えていきます。

お知らせ

小児夜間急病センター当番日 5月19日(金)
19:30-22:30(受付) 場所: 岐阜市民病院にて